

デザイン思考の共同研究における産学連携について
～新たなビジネスモデルの創出に向けて～

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 根岸 秋男）と東京理科大学（学長 藤嶋 昭）は、新たなビジネスモデルの創出に向けた「デザイン思考」の共同研究を産学連携で開始します。

当社は2016年4月に新設したイノベーション推進準備室を中心として、今後もイノベーションの創出に取り組んでいきます。

1. 本取組みの意義

価値観やライフスタイルが多様化するなかで、従来にも増して潜在的なニーズを掘り起こし、新たな顧客体験を生み出していくことが重要となっています。

「デザイン思考」は、人々の行動や思考に関する洞察をもとに潜在的ニーズを見つけ出し、試行と改善を繰り返す取組みを通じて新たな顧客体験を生み出していく創造的なアプローチとして、幅広いビジネス領域において注目を集めています。

また、イノベティブなサービスを生み出すためには、異業種におけるノウハウ・技術を活用した共創の取組みが必要となってきます。「デザイン思考」のアプローチは、新たな顧客体験を共通の軸とした異業種との共創への取組みにフィットした手法であるため、「デザイン思考」の研究は新たなビジネスモデルの創造に向けて大変意義のある取組みとなります。

2. 共同研究の概要

明治安田生命は、ビジネスモデル・デザイン思考等を研究する東京理科大学イノベーション研究科と協働し、新たなビジネスモデルを創出するための「デザイン思考」の手法やツールの開発に取り組んでいきます。

本取組みから蓄積される知見を新たなビジネスモデルの創造に活用することに加え、異業種との共創への取組みを視野にイノベーションへの取組みを推進していく予定です。

3. 「デザイン思考」の手法・ツールの活用イメージ

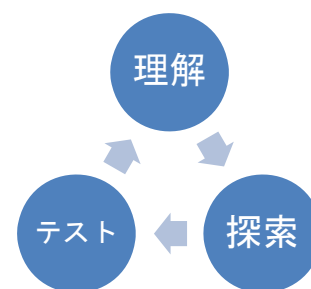
明治安田生命では、役職員がイノベティブな発想法を習得するための社内研修コンテンツ、新たな商品・サービスの検討時に顧客の潜在ニーズを抽出するためのツールとして活用します。

また、異業種との新たなサービスを検討する際に新たなビジネスモデルを生み出すためのツールや企業等へのコンサルティング手法として活用するなど、幅広い分野におけるイノベティブな企業活動での活用について研究も行ない、日本経済の活性化を後押ししていきます。

以上

「デザイン思考」について

「デザイン思考」とは、優秀なデザイナーやクリエイティブな経営者の思考法を真似ることで、新たな発想を生み出そうとする手法で、「理解」「探索」「テスト」を繰り返して行ないます。



デザイン思考の基本的な枠組み

ある具体的な顧客の生活・行動・感情などから顧客の価値観と潜在的な課題を「理解」し、革新的な価値提供・課題解決策を「探索」したうえで、小さな「テスト」を繰り返していくなかで、イノベティブなサービスなどを生み出していきます。生活者である人間を発想の中心に据えるこの手法は、市場や技術に対して論理的に考察を積み重ね、新しいサービスや事業を生み出そうとする既存の手法とは異なり、全く新しい課題の発見や解決策の提示など、ゼロベースでの発想を促す思考法といえます。

「デザイン思考」の研究は、スタンフォード大学の「d. school」と呼ばれるイノベーションを生み出す力を身につけることを目的に創設された組織横断型プログラムで行なわれていました。工学、医学、経営、人文科学、教育などのさまざまな専門知識をもった学生や教員が「デザイン思考」を用いて社会的な問題の新たな解決策を協議し、あらゆる分野で革新的なアイデアの創出が可能な手法として実証されています。